

2023年度エキスパート意見交換会 「国際議長・委員会マネジャー・コンビーナの歩んだ道」

- 日時： 2024年1月22日（月） 15:00～16:30
（現地参加者は17時頃まで名刺交換、歓談）
- 場所： （独）医薬品医療機器総合機構 会議室6
（WebEx併用）
- 講師（スーパーエキスパート、敬称略）：
 - 高橋英和 （東京医科歯科大学）ISO/TC106/SC9国際議長
 - 中岡竜介 （国立医薬品食品衛生研究所）ISO/TC150/SC7委員会マネジャー
 - 中村俊夫 （オリンパス株式会社）ISO/TC172/SC5/WG6コンビーナ
- 参加者： 6 TC（ISO/TC84,106,150,172,194,IEC/TC62）から
28名（Web参加9名を含む）、医機連、厚労省、PMDA関係者他

2023年度エキスパート意見交換会 「国際議長・委員会マネジャー・コンビーナの歩んだ道」

- ・ テーマ 1. 役職就任の経緯、規格完成までの紆余曲折
ー予想と現実のギャップー

- **国際議長**にとっては、委員会マネジャーとのコミュニケーション、Time Clock(TC)の管理、混乱しているWGをサポートすることが肝要
- **委員会マネジャー**（日本から選出された）にとっては、英語がnativeの国際議長との組み合わせは仕事がしやすい。TC幹事とのコミュニケーション（サポートを得られる）が重要
- **WGのコンビーナ**にとっては、中立性が重要。他国から信頼されれば、スムーズに規格を完成できる。そのためにも、いくつかの会議シナリオを考えておくことが必要

2023年度エキスパート意見交換会 「国際議長・委員会マネジャー・コンビーナの歩んだ道」

- ・ テーマ 2. 自分の経験から次期議長・委員会マネジャー・コンビーナへ伝えたいこと、アドバイス（若手エキスパートへ）

- 予めしっかり準備して会議に臨むことが重要。継続して長期的に活動してほしい。そのために、周囲の理解やサポートを受けやすくするための環境整備が必要である。
- 日本発の規格を作成し、自社・自国、ひいては患者様にとって有用な医療機器を市場に出すことを最終目標に、公益性・公正性を意識した上で日本チームへ貢献してほしい。
- 若手が国際標準化活動に参画することで国際的な交流もできる。自分のフィールドが広がることなどをモチベーションに活動してほしい。

（課題）所属組織内で活動しやすく、また周囲の理解やサポートを得やすくするための環境整備に係る継続的な支援が重要

事後アンケート（結果概要）

- 回答率：25/28 85.7%
- 今回の意見交換会で気づきあり：23/25 92%
- 継続開催の希望：25/25 100%
- 国際標準化活動に必要なこと：組織のバックアップ 60% 交渉力56% 語学力56% . . .

（代表的な意見）

- スーパーエキスパートとの意見交換の時間がもっと欲しかった。→①
- 判断に悩むような事例への対処法など、具体的な話を掘り下げて聞きたい。→②

（今後）

- ①今回、スーパーエキスパートが提供した話題の中からテーマを絞り、更に深く掘り下げて話を伺う機会の創出
 - エキスパート意見交換会の継続開催を検討
- ②来年度の国際標準化活動を通して、共有すべき事例およびその対処法についての意見交換の機会を検討
 - 国際規格審議団体分科会を活用した各TCの現状把握のための情報収集